

平成30年(2018年)3月18日(日曜日)



ホテルの本体工事が着手される見通しの西街区=三島駅南口

三島駅南口のホテル工事

三島市の三島駅南口西街区で計画されている東急グループ(東急)のホテル建設計画で、清水建設が月内にも建物本体の工事に着手する見通しだることが17日までに分かった。ホテル開業は予定通り、2020年の東京五輪開幕前になる見込み。

(三島支局・河村英之)

清水建設が月内着手へ 東京五輪前に開業予定

施工は当初、戸田建設と清水建設の共同企業体(JV)が行う予定だったが、事業主体の東急電鉄と契約条件で折り合いが付かず、準備工事が終わつた段階でJVが解散。工事は一時的に中断していた。

関係者によると、東急はその後、施工業者の選定をやり直し、新たに清水建設と契約することになったとみられる。建築確認や開発行為などの関連手続きは済りないという。

清水建設は東京に本社を持つ大手ゼネコン。リニア中央新幹線の駅新設工事を巡る談合事件で捜査対象となるが、東急のホテルは民間同士の契約のため、関係者は「影響はない」としている。ホテルは地上14階、客室数約200室。東京五輪を契機に増加が見込まれるインバウンド(訪日外国人)を主なターゲットに、高級路線の設計